

本当の教えに出会うことは「生きる」ことから、「生かされる」ことへの大転換

無碍の一道 第83号

発行:2022年5月13日
発行者:浄土真宗本願寺派 長尾山 天龍寺
〒739-0147 住職 天野英昭
東広島市八本松西6丁目10番1号
☎・FAX 082-428-1360

宗祖親鸞聖人降誕会法座

日時 5月31日(火) 朝席9:00~ 昼席13:00~15:00頃

ご講師 牛尾 かおり師 (広島市安佐北区深川 明光寺坊守)

第116回歎異抄輪読会

日時 5月26日(木) 14:00~15:30頃

ご講師 松田 正典先生 (広島大学名誉教授)

費用 500円

参加者 天龍寺の門信徒の方のみならず、どなたでも参加は自由です

安居会法座

日時 6月23日(木) 朝席9:00~ 昼席13:00~15:00頃

ご講師 朝枝 暁範師 (北広島町 本立寺住職)

川上仏婦連合法座

日時 7月3日(日) 13:00~15:30

ご講師 清胤 祐子師 (安芸太田町 正覚寺坊守)

天龍寺 縁(ゆかり)カフェ 5月28日(土) 14:00~15:30頃

お気軽においでください。お茶をしながら何でも話してみましょ。う。

第1回目は、「これでいいのかな お焼香」を予定しています。

天龍寺仏教壮年会定例会 5月31日(火) 19:00~20:30頃

天龍寺仏教婦人会清掃奉仕 6月11日(土) 13:30~15:30頃

様々な年代の方のご縁をいただきました I

学校を早期退職させていただき 13 年が過ぎようとしておりますが、この 13 年間で、様々な年代の方のお葬儀がありました。

故人様が、荼毘に付される際にお棺が炉に入れられ、炉の扉が閉まる時に、ご遺族のみなさまの「ありがとう」という大きな声がホール内に響き渡っていたご縁もあれば、荼毘に付された後もご遺族のみなさまの泣き声がホール内に響き渡っていたご縁もありました。

また、お骨を骨壺に収められる際に、悲しみのあまり時間がかかりすぎ、火葬場の係の方と少し関係を悪くされたご縁もありました。

お気を悪くされましたらご理解をいただければありがたいと存じますが、一度の厳しい現実の人生を生きていく上で、人は、人間の価値観に添えば、良きにつけ悪きにつけ、様々なご縁に会いながら生きていかななくてはならないと私なりにご指南をいただいたことです。

以前も何度か申しましたが、幼きときよりいろいろな先生のお話をいただきましたが、ある先生の口癖が「人生には 3 つの坂がある。1 つは上り坂、2 つには下り坂、3 つにはまさか」という内容でした。この 13 年間の中で、今申しました「まさか」のご縁をどれだけいただいたかとも思うことです。

人は、生きていく上で穏やかな海のごとく、平穏な日々を望みながら、どのような人生を選択しても、それぞれが生きていきたいと願っていると思うことです。しかしながら、残酷にも一度の人生で、時に荒海のごとく、大きな悲しみ、苦しみなどに逢いながら生きていかななくてはならないとも、私なりに度々ご指南をいただいたことでもあります。

学生時代に読んだ本の中で「人は、海（苦しみ・悲しみ・辛い事等）に接している絶壁の端を、海に落ちないように落ちないように、それぞれが慎重に慎重に、毎日歩いている」と言う趣旨の表現をされていたと記憶しております。

日々私たちが、大切にしている健康・家族・財産等も残念ながら、いつどのような形で崩れ去っていくかはわからないとも還暦を過ぎ、13 年間のご縁、さらには自分の教え子の人生も含めこの点もご指南をいただいたことでもあります。

13 年間のご縁を通しまして、これほどまでに若い方々のお葬儀が多いとは、教員時代想像もしておりませんでした。時に人の命とは、こんなにはかないものかと痛感させられたご縁もあったことでもあります。

(次号に続きます。)

誠実院釋昭文 俗名 天野昭文本葬のお礼

令和 4 年 3 月 27 日（日）、父の本葬に際しまして、遠近各地より多数のご参詣をいただきましたこと書面をお借りし厚く感謝申し上げます。

父の本葬の日に合わせたように当山の桜が咲き始めました。父は、桜と自分を度々重ね合わせて話をしてくれたものです。その意味においても、本葬の日に咲き始めたことは、何か不思議なご縁を感じたことでもあります。

コロナの終息が見えない中、またウクライナでは戦争がおこっています。しかし、世界情勢がどのように変化しようが、桜は咲く時期に咲き、散る時期に散っていくものだと感じさせられたことです。